

特集 青森県の美しい環境を守るために ... P1~2

2011熱戦再来 北東北総体 P3

知的財産による元気創出!・レッツBuyあおもり新商品募集 P4

青森の産業をけん引する人財育成~創業・起業、地域あきんど~・土砂災害から身を守るには... P5

民生委員の活動について・県立医療療育センターの整備基本構想... P6

イベント特集・企画記事 P7

インフォメーション P8



情熱
特集

青森県のリサイクル率 アップを目指して!

一人ひとりが、できることから始めよう!

青森市立篠田小学校、沖館中学校、各PTAの皆さん

A. 私たちが暮らす環境のためにも、ごみをきちんと分別し、少しでも多くの資源ごみを再利用することができればと思っています。

Q. 資源リサイクルのため、皆さんはどのような活動をしていますか?

A. 青森市役所柳川庁舎前に、雑誌と古新聞、段ボールなどの資源ごみを回収する専用ボックス(エコステーション)を設置し、朝7時から夕方6時まで利用できるようにしています。このような資源ごみ回収ボックスが町の中にあれば、各家庭で都合の良い時に入れておいてもらうことができます。そのせいもあり回収量が昨年よりも徐々に増えてきました。今は、一人でも多くの地域の方々に利用していただくため、ボックスの設置を広くPRする方法を工夫していきたいと思っています。

雑誌や古新聞、段ボールなど資源ごみを再利用するため、地域の方が利用しやすい回収専用ボックスを設置。

A. こうして、小さな無駄をなくすことが日本全体の大きな節約につながります。今だけでなくこの先もずっと、みんなが続けていくことが大事ですね。

Q. 3月の震災後、電力や燃料不足が続きましたが、その後、日常生活で何か気をつけていることはありますか?

A. 一番に気をつけたことは、節電です。TVのつけっぱなし、使っていない部屋や廊下の電気などこまめに消すようになりました。他にも、使わないコンセントは抜いたり、なるべく家族で同じ部屋で過ごしたり、家族みんながこれまで以上に心掛けるようになりました。また、歯磨きの際には、水を止めてうがいをしたり、電気と同じように水、ガスなども私たちの生活になくてはならないものと再認識し、大切に使っています。

Q. 青森県は、全国と比べてリサイクル率が低いことが問題になっていますが、どう思いますか?

A. 青森県は、資源ごみのリサイクル率が低く、県民一人当たりの一般ごみの量が全国平均よりも多いのです。青森の今ある自然の美しさを守り、私たちの未来に引き継いでいくためにも、資源ごみをきちんと分別する、ムダな買い物をし、ごみを増やさないなど、一人ひとりが意識して暮らすことが大切です。それが、この地球全体の未来を考えることにもつながっていくのだと思います。

